

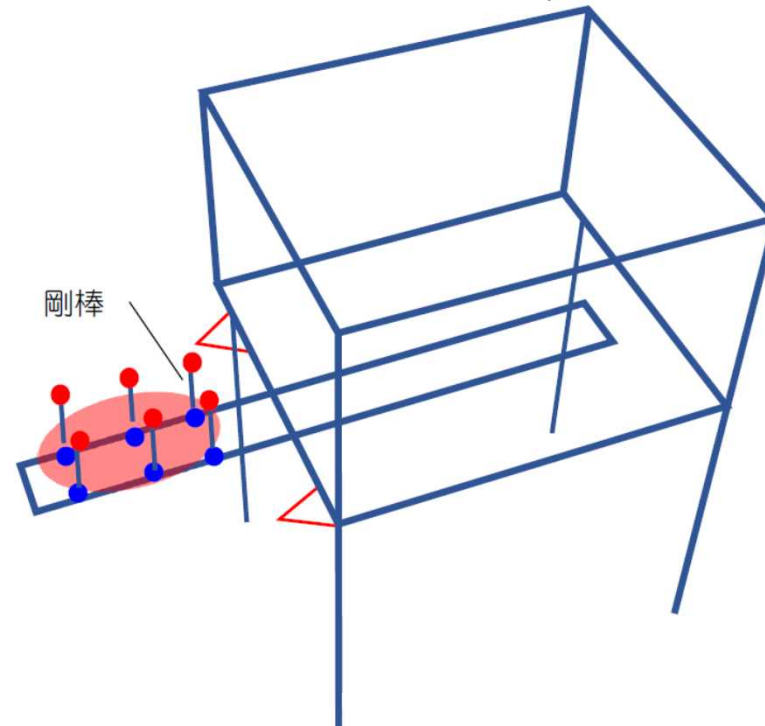
2号機燃料取扱設備の設置について

2022年7月19日（第38回）



東京電力ホールディングス株式会社

- 走行台車は剛性を有しており、また各機器が積載される高さが約1.6mと、建物の階層高さと比較し十分低いことから高さ方向への影響は小さいと判断しているが、走行台車車輪位置の応答を用いることの説明性を向上させるため、簡易評価を実施した。
- 条件
 - ✓ 燃料取り出し用構台の耐震評価に使用している建屋-構台連成モデルについて、走行台車車輪位置に台車高さの剛棒を剛接で取付けたモデルにより評価を実施した。
 - ✓ 地震動は1/2Ss450を適用し、3方向同時入力とする。
 - ✓ 以上の条件により走行台車上におけるFRSを作成し、走行台車車輪位置の応答と比較を行った。

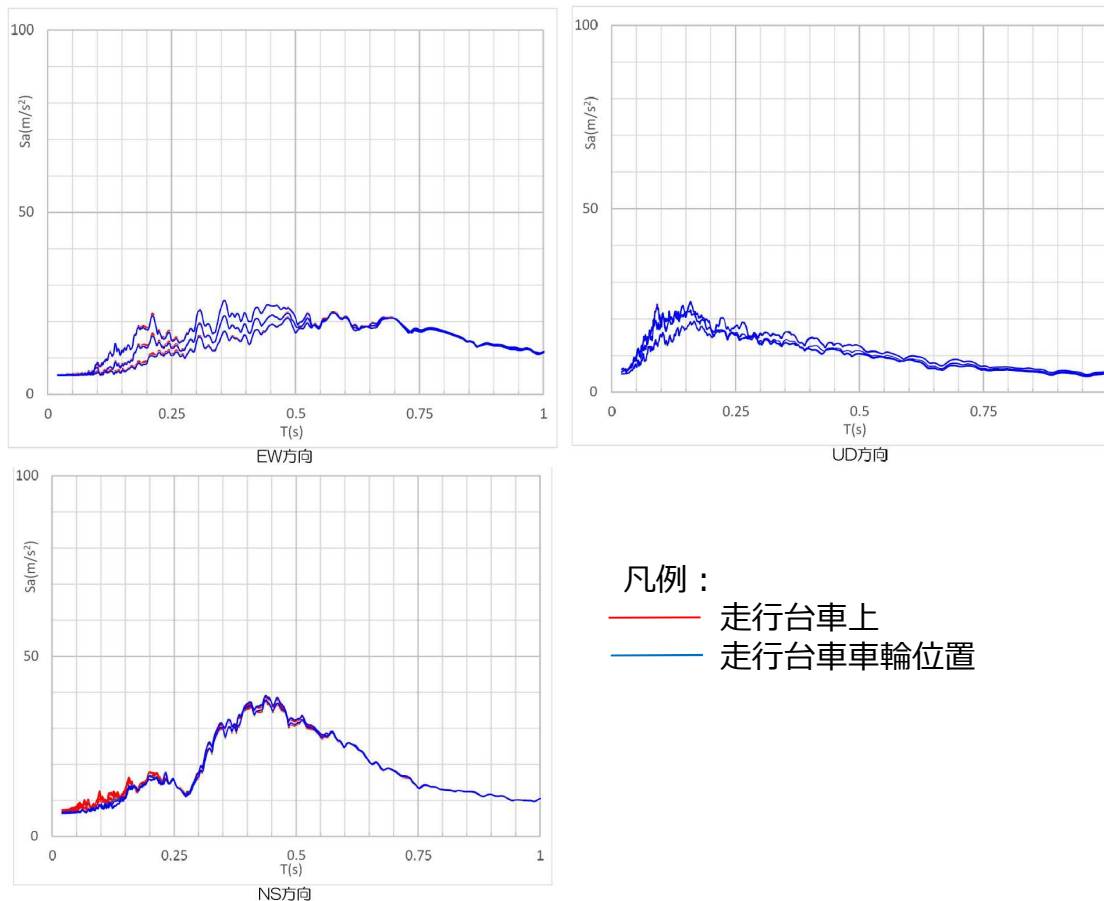


床応答スペクトル高さ方向の影響確認モデル概要図

FRSに関する走行台車高さ方向の影響確認について

■ 評価結果

- ✓ 剛棒頂部（モデル上の赤点）と下部（モデル上の青点）の応答を比較した結果、左下図のような挙動を示すことを確認した。
- ✓ 水平方向の短周期側において僅かに大きい加速度を示しているが、全体的に台車車輪位置とほぼ同じ傾向を示している。また、右下表「各機器固有周期」と比較しても、走行台車上の機器の評価に車輪位置の応答を適用することは妥当である。



走行台車位置加速度スペクトル比較

各機器固有周期

機器	固有周期 (s)	
	水平一次	上下一次
クレーン	1.0	1.0
燃料取扱機	1.6	1.0